

如新会 修士論文・博士論文など一覧表

1. 修士論文一覧

経済学研究科

修了年度	氏名	指導教授	修士論文タイトル
1988.3	中澤 蒨	神野 直彦	地方自治体における財政の生産性について
1989.3	岸川 通蔵	中西 健一	海運のコンテナ化と港湾運送の変貌 －港湾運送から見る地方（新設）ターミナルの条件
1989.3	高林 二郎	中岡 哲郎	技術移転の視角 －日本のプラント輸出と発展途上国の技術接合
1989.3	田中 彦一	佐藤 光	『ハンドニットロジー』の世界 －編み物における消費社会変容の一考察－
1990.3	青木 昇一	中岡 哲郎	「生活密着型技術の技術論」 －日本における石油ストーブ技術の形成過程を通して－
1990.3	小野 令二	辻 悟一	現代の流通政策
1990.3	三枝 義彦	辻 悟一	中小企業の成長に関する一考察
1990.3	藤本 理一	西口 直治郎	経営成果からみた播州織の産地構造 －高度成長～昭和終章－
1990.3	菅原 俊廣	玉井 金五	日本における保健所活動と公衆衛生政策 －社会政策の視点から－
1991.3	小原 正男	中岡 哲郎	近代産業展開期におけるプライマリーな工業教育 －手島精一のサムライ的思想と啓発活動を中心に－
1991.3	木目 和男	小玉 徹	大阪府における木造賃貸住宅密集地区の再開発
1991.3	松井 康人	竹中 恵美子	転換期における松下電器の仕事別賃金に関する一考察 －戦後賃金交渉における仕事別賃金の意義と限界
1991.3	森 薫	伊勢田 穆	戦後の日本国有鉄道－運転職場中心に－
1992.3	小野 忠義	中岡 哲郎	肝油の産業史
1992.3	横田 一彌	西口 直治郎	経済学にみる技術について －70年代以降の重化学工業の技術計測
1993.3	籠谷 次郎	大島 真理夫	大阪市における学区財政の展開 －南区空堀町外十三町区の事例－
1993.3	金谷 千慧子	竹中 恵美子	女性の再就職実態と職業教育 －主婦の再就職と就業支援

1994.3	田 修	辻 悟一	京阪神都市圏工業の地域構造の考察
1994.3	土屋 和男	田畑 理一	旧ソ連経済における「会計」の位置付けについて － (1917-64年) －
1994.3	田主 信生	植田 政孝	都市化への考察－大阪の都市化の展開をみる－
1994.3	三瀬 順三	明石 芳彦	化粧品生産技術の変遷に関する一考察 ー特に、 調和の創造に「赤と白」が果たした経済的効果ー
1995.3	上野 晃	塩澤 由典	シュンペーター『景気循環論』の研究
1995.3	山本 進	辻 悟一	家電製品の修理サービスの変遷と今後のめざすべき 方向
1996.3	大貝 威芳	中本 悟	日米国際競争力と産業政策
1997.3	斎藤 洋	塩澤 由典	経済学教育の今日的課題と改善への方向性 ー経済学に於ける数学教育を中心に
1997.3	高田 雄司	明石 芳彦	スウェーデンの多国籍企業の研究開発戦略 ー通信機器メーカー・Ericsson社の事例ー
1997.3	竹内 淳一郎	明石 芳彦	戦後日本カメラ産業の発展と輸出検査制度
1997.3	横山 正智	中尾 茂夫	極東のスウェーデン貿易商社 ーガデリウス商会と日本の工業化ー
1997.3	貴田 為二郎	大島 真理夫	メキシコ通貨危機問題 (1994年代～1995年始め) ー原因、背景そして波及ー
1997.3	吉田 興一	玉井 金五	社会政策の視点からみた在宅高齢者の訪問歯科診 療の現状と問題点
1998.3	小嶋 康生	榎本 里司	山陽特殊鋼の倒産と再生 ー資本の集中はいかに進むかー
1998.3	仲村 忠雄	植田 政孝	地価問題の新展開と土地税制のあり方
1998.3	山田 成人	榎本 里司	我が国鉄鋼大手5社の事業多角化 ー住友金属を事例としてー
1998.3	小汐 明子	大島 真理夫	地方経済と芝居興行ー金毘羅社領の事例ー
1998.3	島村 幸光	佐々木 信彰	中国・対外開放政策と外資系小売企業の中国戦略
1998.3	高島 康雄	木村 収	日本の経済的安全保障面からみた物流を巡る諸問題ー 我国主要物流業界の問題点と物流施策課題への一試論
1998.3	谷 彌兵衛	大島 真理夫	吉野材木商人の研究
1999.3	荻野 和巳	坂上 茂樹	炉内容積より見た高炉の大型化ー高炉の大型化に 関する主要製鉄、国の取り組み方の相違についてー
1999.3	金井 弘之	明石 芳彦	公共事業支援統合情報システムに関する一考察 ー電子商取引の事例研究ー

1999.3	米田 龍二	大島 真理夫	原六郎の研究－志士と銀行家
1999.3	赤野 實	長沼 進一	財政投融资改革と郵便貯金 －財投システムの変とその対応－
1999.3	佐藤 勉	瀬岡 吉彦	日本の医療経済の効率化にむけて －医療保険の理論構造から－
1999.3	鈴木 實	大島 真理夫	近世後期泉州宇多大津村の諸階層 －社会史的アプローチの試み－
2000.3	富永 安男	玉井 金五	日本の財政調整型年金制度－その実態と問題状況－
2000.3	夏田 信身	大島 真理夫	懐徳堂と「利」の思想－近世大坂町人の知の営為
2001.3	青山 三四郎	植田 政孝	地方債をとりまく環境の変化と制度改革 －管理型地方債制度からの脱却－
2001.3	岩 一成	福田 義孝	信用金庫における「日本的経営」の軌跡 －終身雇用、年功制を中心として－
2001.3	森本 泰三	松沢 俊雄	都市交通における高齢者モビリティの研究
2001.3	畑中 治朗	福田 義孝	戦時下の近江絹絲株式会社の従業員教育 －繊維産業から航空機産業への転換に際して－
2002.3	小西 俊博	佐々木 信彰	中国の経済発展と貿易商品構造
2002.3	橘高 修一	中本 悟	日米損害保険協議と保険業法の改正 －日米損害保険摩擦の実像－
2002.3	梅屋 義實	明石 芳彦	中小企業の継続的成長と製品開発
2002.3	山下 恒生	中村 健吾	リージョナル・ガバナンス・モデル －国民国家に代わる可能性－
2003.3	河合 睦博	小玉 徹	固定資産税について
2003.3	松崎 征弘	佐々木 信彰	中国における環境問題 －環境保全産業の育成を目指して－
2003.3	浜口 弘幸	辻 悟 一	大阪府沿岸域における資源管理型漁業に関する一考察
2004.3	磯島 一誠	大島 真理夫	大阪の老舗の盛衰と企業文化
2004.3	高橋 弘光	阪上 茂樹	わが国総合化学企業における石化部門に関する考察
2004.3	山下 秀夫	中村 健吾	企業業績に基づく大阪府中小製造業の実態分析
2004.3	横溝 幸徳	長沼 進一	地方自治確立のための財政システム
2005.6	浜藺 研吉	長沼 進一	大阪湾港湾開発－ハブ港機能の低下－
2005.3	野口 洽	佐々木 信彰	対外直接投資と生産空洞化問題 －対中投資と大阪を中心に雇用効果の視点から－
2005.3	川上 忠臣	松島 正博	農地の取引(売買)価格と収益性からみた価格についての研究－米麦を中心として－

2005.3	幸泉 美貴	大島 真理夫	近世日本における灰の利用法とリサイクル
2006.3	竹内 徹夫	中嶋 哲也	キャッチアップ型成長規範モデルの原型
2007.3	松下 録治	中嶋 哲也	ヴェルグル型地域通貨の可能性
2007.3	杉山 壽利	長谷川 淳一	接客における経済効果
2007.3	堀 晴彦	玉井 金五	高齢者雇用対策と社会的責任論 －65歳現役社会樹立に向けて－
2008.3	山上 豊	大島 真理夫	近代奈良の地域社会形成と名望家の動向 －大和国平群郡安堵村今村勤三の場合－
2008.3	山中 一政	大島 真理夫	ベトナム特需と日本経済 －在阪機械専門商社での輸出体験を通して－
2009.3	樋上 恵美子	玉井 金五	戦間期大阪における乳児死亡について
2010.3	吉野 幸子	長沼 進一	母子家庭と児童扶養手当－大阪市を事例として－
2011.3	山内 由み子	脇村 孝平	バングラデシュの出生率低下と家族計画 －NGOの活動に注目して－
2011.3	松本 千賀子	玉井 金五	日本の教育格差と若年者就労対策 －高校生を中心に－

経営学研究科

修了年度	氏名	指導教授	修士論文タイトル
1998.3	大津寄 勝典	佐々木 建	紡績業における企業福利厚生制度形成に関する研究
2000.3	村上 周郎	佐々木 建	化学工業の戦後の発展－住友を中心として－
2000.3	上村 興右	坂本 清	日本のベンチャー企業の成長過程の研究 －事例研究（電気機械業種）－
2002.3	藤井 吉郎	中川 信義	脱欧入亜へのニュージーランドの取り組み －貿易および移民(Immigration) 政策について
2002.3	中道 晋	川村 尚也	システム論の経営学への展開
2005.3	高島 邦子	畑 明郎	産業廃棄物不法投棄の課題と地方自治体の環境政策 －青森・岩手県境不法投棄を事例として－

2. 博士論文・論文博士一覧

大学 学科	氏名	指導教授	博士論文タイトル
市大 経営	藤井 吉郎	鈴木 洋太郎	ニュージーランドの経済発展と競争優位について ークラスター形成と自由主義思想ー
市大 経済	高林 二郎		東アジア工業化と技術形成 ー日中アセアンの経験に学ぶ (論文博士)
神戸大 経営	大貝 威芳	吉原 英樹	国際競争力キャッチアップ戦略
市大 経済	横山 正智	大島 真理夫	日本の工業化とガデリウス商会ー商社からメーカーへ
市大 経済	谷 彌兵衛	大島 真理夫	近世吉野林業史 (論文博士)
府大 人間文化	森本 泰三	中河 伸俊	大都市地域における高齢者の日常生活空間と社会施設の 充実度の研究ー泉北ニュータウンを中心として
神戸大 工学	堀 晴彦	白瀬 敬一	製造現場の労働負荷に基づいた高年齢者対策の推進機序 に関する研究